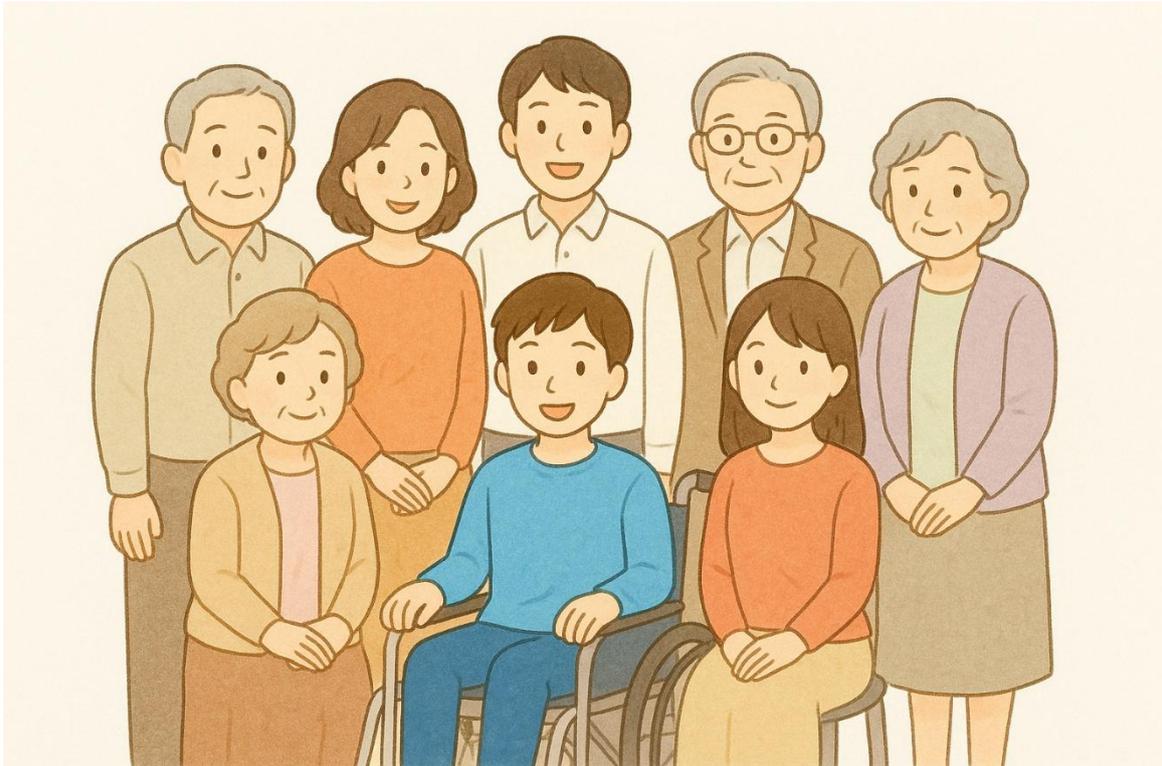


令和7年度 鏡が丘特別支援学校
学校評価



令和7年9月2日～10月4日実施

令和8年2月



沖縄県立鏡が丘特別支援学校

〈令和7年度 学校評価 職員用〉

◎：当てはまる ○：ある程度当てはまる △：あまり当てはまらない ×：当てはまらない

n=144 (回答率98%)

	No	必須	評 価 項 目	評価欄 %			
				◎	○	△	×
学校経営	1	○	児童生徒一人一人の「自立と社会参加」を目指し、学校教育目標や学部の教育目標を意識しながら教育活動を行っている。	54.9	43.1	1.4	0.7
	2	○	職員の協働体制のもと、円滑な学校運営がなされている。	52.8	45.8	1.4	0
教育課程・学習指導	3		学習指導要領を踏まえた教育課程を編成し、教科指導の充実、目標・指導・評価の一体化が図られている。 ▶学習指導要領を踏まえた教科指導の充実について教育課程編成委員会で決定し、標準授業時数に準拠した教科時数の設定、教科別指導に関しての情報交換が行われています。	43.9	52.3	2.3	1.5
	4		各教科の系統性ある個別の指導計画が作成され、小中高一貫した学習の積み上げがなされている。 ▶児童生徒の学習の履修・習得状況を記録した「学びの履歴チェックシート」を小中高共通で導入し、履修・習得状況に応じた指導計画作成に取り組んでいます。	32.6	60.6	5.3	1.5
	5		児童生徒個々の実態を踏まえた授業の目標・活動設定や支援に努めている。 ▶4「学びの履歴チェックシート」を活用し、実態に応じた目標設定を行っています。また今年度校内研究で、ICTの児童生徒の実態を踏まえた授業実践や授業研究会に小中高職員で取り組んでいます。	42.7	53.4	2.3	1.5
	6		情報機器の整備・充実により教育情報化を推進し、ICTの教育活用に努めている。 ▶iPadや電子黒板等の活用や、Teams等クラウドを用いた課題プリントの配布等、ICTの授業活用が行われています。	39.6	56	3	1.5
	7		社会に開かれた教育課程の実現に向け、交流や外部人材の活用を含め、地域や他校・企業・外部機関と連携・協働した学習活動が行われている。 ▶今年度も自治会等と連携したポッチャ交流会や他校との共同学習が多く計画されています。	45.2	51.9	2.2	0.7
	8		「鏡が丘 育てたい力」を踏まえ、キャリア教育の視点を取り入れた授業や就業体験等の充実を図り、小・中・高・寄宿舎の連携を図り、一貫したキャリア教育を行っている。 ▶高等部だけでなく中学部においても校内就業体験を導入している。卒業後の進路とそこで必要になる力について全職員が共通理解を図れるよう、進路指導部による校内研修を実施。	49.6	47.4	2.2	0.7
	9		学校は進路部を中心に進路講話や進路だよりなどを通して、将来の進路や職業などについて必要な情報を提供をしている。 ▶進路講話の対象を全学部保護者に拡大。事業所を招いて説明会の実施や、早期から卒業後を見据えてもらえるよう情報発信を行っています。	69.6	28.1	0.7	1.5
人権	10	○	児童生徒の人権を侵害するような言動にならないよう気を付けている。 ▶全体終礼でのコンプライアンス研修等を通して注意喚起を図っています。	77.1	21.5	1.4	0
	11		日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に務めている。 ▶日頃の児童生徒の様子観察はもちろん、生徒指導部によるいじめアンケートで、いじめの早期発見に務めています。	67.4	30.4	1.5	0.7
舎	12		自立と社会参加を目指した魅力ある寄宿舎教育が行われている。 ▶舎生が充実した舎生活を送れるよう寄宿舎行事の工夫と充実に努めています。(詳しくは寄宿舎LINE参照)。舎生の自立を図る「ステップアップ 週間」も設定しています。	66.2	33.1	0	0.8
	13		学部と寄宿舎が舎生の自立と社会参加に向けて情報共有を図り連携している。 ▶普段の引継ぎだけでなく、保護者面談に寄宿舎指導員も同席することで、学部・寄宿舎が舎生の自立と社会参加に向けて普段の指導・支援の共通理解を図っています。	63.9	34.6	0.8	0.8

保健・安全	14	<p>児童生徒が健康な生活を送れるよう、保護者との情報共有や保健室との連携が図られている。</p> <p>▶保護者から得られた児童生徒の健康状態・体調に関する情報を保健室と共有するとともに、学校で体調不良等の場合はすぐ保健室と対応を協議し、保護者に連絡しています。</p>	78.3	21	0	0.7
	15	<p>医療的ケアが安全かつ確実に実施できる体制がとられ、医ケア児の健康管理と安全対策に努めている。</p> <p>▶朝の4者チェックが確実に行われるよう体制を改め、医ケア児の健康管理を強化しました。また、医ケア児の対応について必要に応じて学校医の助言を得るとともに、主治医面談に養護教諭が同行するなどして、安全な実施のための情報収集と確認を強化しています。</p>	76.5	22.8	0	0.7
	16	<p>児童生徒が安全安心な学校生活を送れるよう、定期的な清掃、整理整頓、危険物の除去、迅速な修繕等、学習環境の安全確保に努めている。</p> <p>▶分担区清掃、定期的な校内美化作業に加え、週番による安全点検を実施。修繕が生じた箇所については迅速な対応に努めています。</p>	61.1	38.2	0.7	0
	17	<p>事故防止のため、歩行・車椅子操作等の介助・支援方法や、ヒヤリハット事例が共有されている。</p> <p>▶新職員を対象とした安全な車椅子操作に関する研修、全職員を対象とした安全な移乗に関する研修を実施。ヒヤリハット事例は学部終礼で共有することで再発防止に努めています。</p>	63.8	32.6	2.2	1.4
	18	<p>給食(舎食)は、児童生徒が食べやすい食形態等で提供されている。</p> <p>▶給食は普通食の他3つの食形態(細きざみ食・ソフト食・ペースト食)を準備して提供しています。</p>	82.6	15.9	0.7	0.7
サービス	19	<p>法令とサービス規律を遵守するとともに、児童生徒・保護者・同僚に対する言葉遣いや態度に気を付けている。</p> <p>▶事務室の適正な事務処理、学校取扱金検討委員会を経た学校取扱金の適正処理に務めるとともに、サービス等について定期的なコンプライアンス研修、Teams等による注意喚起を行っています。</p>	73.6	25.7	0.7	0
保護者連携	20	<p>保護者や福祉等の関係機関と連携し、自立と社会参加に向けた長期的な視点で児童生徒の個別の支援計画(舎生は個別の生活指導計画)を作成している。</p> <p>▶4月の保護者面談において児童生徒の教育的ニーズを把握し、長期目標を含めた個別の支援計画を策定しています。また定期的に福祉関係者同席の支援者会議に担任・支援部が参加し、保護者・福祉関係者と情報共有を図りつつ、児童生徒に必要な支援について共通確認を行っています。</p>	67.6	31.6	0	0.7
	21	<p>学校はお便り、マチコミメール、公文等で必要な情報を保護者に適切に伝えるとともに、学校ホームページ等を通して学校の教育活動を発信している。</p> <p>▶マチコミ等の積極的な活用による情報発信を図っています。</p>	64.2	33.6	1.5	0.7
働き方	22	<p>同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。</p>	54.9	44.4	0.7	0
	23	<p>個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。</p>	20.8	53.5	20.8	4.9
	24	<p>一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。</p>	47.2	50.7	1.4	0.7
	25	<p>より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。</p>	47.2	50	1.4	1.4
	26	<p>心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。</p>	34	58.3	5.6	2.1

〈令和7年度 学校評価 保護者用〉

n = 44 (回答率44%)

◎：当てはまる ○：ある程度当てはまる △：あまり当てはまらない ×：当てはまらない ?：わからない

	No.	評 価 項 目	評価欄				
			◎	○	△	×	?
保護者との連携	1	学校はお便り、ホームページやマチコミメール、公文等で必要な情報を適切に伝えている。 ▶今年度からマチコミの積極的な活用による情報発信を図っています。	79.5	18.2	0	0	2.3
	2	学校は子どもの学習の様子や内容を連絡帳・面談・学級(学年)通信、授業参観の実施等を通して適切に伝えている。	86.4	11.4	0	0	2.3
	3	学校は保護者が子どもの様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。	77.3	20.5	2.3	0	0
	4	あゆみ・通知表は、子どもの学習の様子を適切に評価し、伝えている。	84.1	13.6	0	0	2.3
	5	学校は卒業後の進路や職業などについて参考となる情報を提供している。 ▶昨年度から進路講話の対象を全学部保護者に拡大して実施、また事業所を招いて説明会を実施しています。	77.3	11.4	2.3	0	9.1
	6	「個別の教育支援計画」は、子どもの実態を適切に把握し、自立と社会参加に向けた長期的な視点で作成されている。	77.3	15.9	2.3	0	4.5
指導・支援	7	子ども一人一人に応じて、丁寧に適切な指導・支援をしている。	75	22.7	0	2.3	0
	8	授業は子どもの実態に応じた目標設定のもと、子どもが主体的に学べるよう学習活動や必要な支援が工夫されている。	79.5	9.1	4.5	0	6.8
	9	教師は子どもの指導・支援の向上と授業改善のために、研修等を通して専門性と資質・能力の向上に努めている。 ▶職員を対象に医ケア、摂食、安全な介助、救急法、ポジショニング、自立活動、卒業後の進路、保護者理解、教科指導と評価、ICT機器活用等の各種校内研修を計画実施しています。また今年度は校内研究として、子どもたちが小中高を通して系統的な学びを確実に積み上げられるよう、学習活動の整理と改善に取り組んでいます。	79.5	13.6	0	2.3	4.5
	10	子どもは学校に行くのが楽しいと言っている。 (学校に行くのが楽しそうである)	75	22.7	0	0	2.3
地域連携	11	学校は、交流や外部人材の活用を含め、地域や他校・企業・外部機関と連携・協働した学習活動を行っている。 ▶当山小、沢岷小、伊是名中、浦西中、首里東高、沖縄工高等のとの交流学习、自治会等と連携したポッチャ交流会、スクールカウンセラーによる道徳授業等に取り組んでいます。	77.3	18.2	0	0	4.5
保健安全	12	学校は子どもが健康な生活を送れるよう、保護者との情報共有や連携が図られている。	88.6	6.8	2.3	0	2.3
	13	学校は、子どもが安全安心な学校生活を送れるよう、安全教育や避難訓練、学習環境の安全確保に努めている。 ▶交通安全教室、火災・地震避難訓練、不審者避難訓練、緊急時シミュレーション、救急法や安全な介助に関する研修を実施。普段の清掃、全職員による定期的な校内美化作業、毎日の安全点検を実施しています。	70.5	18.2	0	0	11.4
	14	給食(舎食)は、子どもが食べやすく栄養を考えて提供されている。 ▶実態に応じて4形態(普通食・細きざみ食・ソフト食・ペースト食)の給食を準備・提供しています。アレルギーのある子どもには除去食・代替食の提供を行っています。	70.5	4.5	4.5	0	20.5
会計	15	学校の徴収金等は、用途が明確にされており、適切に会計処理が行われている。 ▶県の私費会計マニュアルに準拠し会計処理を厳格化しています。担任のみならず会計係、部主事、管理者によるチェックを行い適正な処理に努めています。また、公正・公明な会計処理のために、学校徴収金委員会を開催し適正な処理方法について検討と点検を行っています。	77.3	15.9	0	0	6.8

〈令和7年度 学校評価 児童生徒用 アンケート〉

◎：当てはまる ○：ある程度当てはまる △：あまり当てはまらない ×：当てはまらない ?：わからない

n = 19

	NO	アンケート項目 (こうもく)	◎	○	△	×	?
学校や先生に関する事	1	学校に行くのが楽しい。	84.2	10.5	0	5.3	0
	2	友だちは優しく、仲良く過ごすことができている。	100	0	0	0	0
	3	学校では、いじめや暴力がない。	94.7	0	0	0	5.3
	4	先生は元気で明るい。	94.7	5.3	0	0	0
	5	先生の言葉づかいはていねいである。	73.7	10.5	0	5.3	10.5
	6	先生は、よくほめてくれる。	84.2	15.8	0	0	0
	7	担任の先生の他にも、気軽に相談や話のできる先生がいる。	78.9	15.8	0	5.3	0
	8	(小学部)文化祭・運動会・宿泊行事などの学校行事は、楽しみである。 (中・高等部)学校行事(文化祭・運動会・宿泊行事など)は、いろいろな活動があり工夫されている。	100	0	0	0	0
	9	(小学部)児童会活動は、いろいろな活動があり楽しい。 (中・高等部)生徒会活動は、いろいろな活動や交流を工夫して行うことができている。	84.2	5.3	5.3	5.3	0
	10	学校はていねいにそうじされていて、きれいである。	94.7	0	5.3	0	0
授業に関する事	11	先生方が教え方を工夫してくれるので、授業がわかりやすい。	73.7	5.3	10.5	5.3	5.3
	12	先生は、授業でわからないことをていねいに教えてくれる。	89.5	0	0	5.3	5.3
	13	先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。	68.4	10.5	5.3	5.3	10.5
	14	授業では、自分の考えをまとめたり発表したりする活動がよくある。	84.2	5.3	0	10.5	0
	15	授業では、友だちと話し合いや相談などをする活動がある。	78.9	10.5	5.3	5.3	0
	16	(小学部)授業では、実習や物づくり、実験などの体験学習があり楽しい。 (中・高等部)授業では、実習や物づくり、観察・実験などの体験学習がよく行われている。	89.5	0	5.3	5.3	0
	17	授業では、先生方がパソコンやiPadなどを使いながら説明したり、自分で使ったりしている。	84.2	10.5	5.3	0	0
	18	(小学部)自分の将来の夢や目標を考える時間がある。 (中・高等部)自分自身の将来を考える時間がある。(キャリアパスポートを活用している)	73.7	21.1	0	0	5.3
	19	校外学習や他校との交流、オンライン学習などがあり、内容も工夫されていて楽しい。	84.2	10.5	0	0	5.3
関連する事 給食・保健・安全	20	給食は栄養が考えられていて、おいしい。	89.5	5.3	0	5.3	0
	21	地震や火事などのときはどうすればよいか授業などで習い、よく知っている。	84.2	10.5	5.3	0	0
	22	感染症にかからないよう、手洗いなどをして、気をつけることができている。	89.5	10.5	0	0	0

令和7年度 学校関係者評価(学校評議員)【結果】

【評価方法】

各評価項目ごとに、下記の評価基準でチェックし評価をお願いします。

A	十分に適切な評価がなされている
B	適切な評価がなされている

C	あまり適切な評価になっていない
D	評価結果に対する検討が必要

1. 職員の自己評価

	評価項目	A	B	C	D
評価1	評価項目を適切に設定し、評価されているか。	4	1		
評価2	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育課程・学習指導」の項目で「学びの履歴チェックシート」を活用して、小中高共通の指導事例があったら確認したいです。重要だと思えます。 ・「教育課程・学習指導」の項目で、先生方もご苦労されている様子が、数字を見る限りで感じました。働き方を見直され、先生方にも心と身体のゆとりが出てきましたら、もっとより良い学習の指導にあたられると思えます。 ・「働き方」について、担当児によっては、重症児を受け持つことになると思えます。時間配分も違いますし、ゆとりが持てない事も多いでしょう。先生の裁量ではなくみんなで児童の障害を知る事で、先生のスキルも上がるのではないのでしょうか？No23「個人の裁量(ゆとり)のある時間の確保ができている」の×の割合が多いことが気になりました。 ・全体として、多くの項目で「当てはまる」「ある程度当てはまる」が高い割合を占めており、学校教育活動が概ね安定して実践されていることがうかがえます。特に、「キャリア教育」や「人権」、生徒指導の分野において高い評価が得られており、日常的な丁寧な関わりや組織的な取組の成果だと感じました。一方で、ICTの活用や学習評価の工夫、個に応じた指導の充実については、一定の成果は見られるものの、さらなる改善の余地があるように思います。今後は、実践事例の共有や研修の充実を通して、教職員間での共通理解を深め、より質の高い教育活動につなげていくことを期待します。 				

2. 保護者による評価・意見

	評価項目	A	B	C	D
評価3	評価項目を適切に設定し、評価されているか。	4	1		
評価4	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者との連携」の項目で、「個別の教育支援計画」の保護者の願いは、学習内容で一人一人に応じて、具体的にどのように展開されているか確認したいです。 ・保護者からの評価がどの項目も高いのは、日々の先生方のご尽力の結果だと思えます。親御さんが、学校(先生方)を信じて、お子さんを預けられているのですね。 ・「保健安全」について、災害は避けることができないと思えますが、日頃からの訓練、学校周辺の避難場所、職員の安全確保のための用具の準備など、日頃の用心を心がけて欲しいです。また、卒業後地域で暮らせるよう、災害時と同様、地域と関わる気持ちを、ご家族にも持ってほしいです。 ・学校からの連絡や学習・生活面での支援、安全面への取組については、多くの保護者が安心感を持っていることが分かりました。特に、子どもが学校生活を前向きに捉えている様子がうかがえる点は、大きな成果だと感じます。一方で、「わからない」とする回答が一定数ある項目については、学校で行われている取組が保護者に十分伝わっていない可能性もあると考えられます。ホームページやお便り等で、具体的な事例や目的を紹介することで、より理解しやすくなるのではないのでしょうか。 				

3. 児童生徒の評価・意見

	評価項目	A	B	C	D
評価5	評価項目を適切に設定し、評価されているか。	4	1		
評価6	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が行事を楽しみに日頃活動していることや、目標に向かってステップがあがっていくことがとても嬉しいです。 ・いつも元気で明るい、鏡が丘の子ども達にパワーを頂いています。生徒達のやりたい事があり、すばらしく活発ですね。給食も美味しく、楽しく美味しく食べられている様子が浮かびます。 ・No2「友だちは優しく、仲良く過ごすことができています」とNo8「学校行事は楽しみである」がすべてだと思えます。学校は友達と会って楽しく仲良く、大きな行事のわくわくがあれば毎日が楽しく過ごせるのだと思えます。学校なので、そうも言ってもらえないと思えますが、大人になってもずっとこの忘れられない気持ちを持って生きていくので、沢山楽しい事を提供してあげてください。 ・アンケート結果から、友だち関係や学校の雰囲気がよく、児童生徒が安心して学校生活を送れていることが分かりました。特に「友だちが優しい」「学校に行くのが楽しい」と感じている児童生徒が多い点は、大きな成果だと思えます。一方で、授業の分かりやすさや、自分の考えをまとめて発表する活動、将来について考える学習については、さらに工夫の余地があると感じました。今後は、児童生徒一人ひとりがより主体的に学べる授業づくりを進めていくことを期待します。 				

I はじめに

学校評価は、本校の教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることを目的としている。また、自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携・協力の強化を図ることも、学校評価の重要な目的である。

本校では9月～10月に学校評価を実施し、その結果を分析した上で、教育活動ならびに学校運営の改善に活用している。

II アンケートの概要

1. 教職員による自己評価及び保護者・児童生徒のアンケートの概要

学校経営方針で定めた「本年度の重点目標」に関する達成状況を評価し、その結果を受けて必要に応じて改善を行うことで、学校経営方針の具現化と重点目標の達成を図る観点から、学校評価の評価項目を学校経営方針の重点目標に即して設定した。自己評価アンケートを、全教職員統一の評価項目を設定し、その中で必須回答と任意回答の設問を用意することで、学校経営方針と重点目標の達成状況に焦点化して評価できるようにした。

関連して、教職員を対象とした自由記述アンケートでは、重点目標を達成するために強化した方がよい取り組みや新たなアイデアを募った。

また、働き方改革の取組状況を自己評価するため、「沖縄県公立学校における働き方改革推進計画」に示された「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」といった「3軸・6視点」を評価項目に盛り込んだ。

教職員による自己評価アンケートならびに保護者を対象としたアンケートは、記名式で行うようになっているが、アンケート集約者（主幹教諭）以外は回答者がわからないよう匿名性に配慮して集計している。

2. アンケート集計について

教職員のうち管理職、各学部教員、寄宿舍指導員、事務現業部職員（会計年度任用職員含む）147名に記名式のアンケートを依頼し、回答を得た。（回収率98%）。また各学部の保護者100名に記名式のアンケートを依頼し、44名から回答を得た。（回収率44%）。尚、今年度から教職員対象のアンケートに加えて保護者対象のアンケートも全てFormsにて回答・集計を行っている。

児童生徒については、小学部から高等部までのI課程・II課程Aの児童生徒に加え、回答できる児童生徒19名にアンケートを実施（必要な児童生徒については教師が設問を説明）し、全員から回答（回収率100%）を得た（表1）。

表1 アンケート対象者と回答率

アンケート	対象	人数	回収数	回収率
教職員	管理者、教員、寄宿舎指導員、事務現業職員等	147	144	98%
保護者	小・中・高等部児童生徒保護者	100	44	44%
児童生徒	小・中・高等部Ⅰ課程・Ⅱ課程A・回答できる実態の児童生徒	19	19	100%

Ⅲ アンケートの分析及び考察

アンケート結果（パーセンテージ）より「◎当てはまる」と「○ある程度当てはまる」を良好な評価（以下、「良好な評価」とする）とし、「△あまり当てはまらない」と「×当てはまらない」を検討の必要な評価（以下、「検討が必要な評価」とする）とする。アンケートの集計結果をもとに今年度の学校運営の状況と関連付けて分析・考察を行う。

1. 高評価と捉えられる項目

(1) 職員対象アンケート（◎「当てはまる」が7割以上）

- ・児童生徒の人権を侵害するような言動にならないよう気を付けている。77.1%
- ・児童生徒が健康な生活を送れるよう、保護者との情報共有や保健室との連携が図られている。78.3%
- ・医療的ケアが安全かつ確実に実施できる体制がとられ、医ケア児の健康管理と安全対策に努めている。76.5%
- ・給食(舎食)は、児童生徒が食べやすい食形態等で提供されている。82.6%
- ・法令と服務規律を遵守するとともに、児童生徒・保護者・同僚に対する言葉遣いや態度に気を付けている。73.6%

医療的ケアの安全な実施に向けて、養護教諭を始め関係機関との連携を強化してきたことについて、概ね良い評価となっている。今後もいっそう安全で安心な実施に向けて体制を整えていきたい。

(2) 児童生徒対象アンケート（◎「当てはまる」の割合が高かった主な項目）

- ・友だちは優しくて、仲良く過ごすことができている。100%
- ・学校では、いじめや暴力がない。94.7%
- ・先生は元気で明るい。94.7%
- ・(小学部)文化祭・運動会・宿泊行事などの学校行事は、楽しみである。(中・高等部)学校行事(文化祭・運動会・宿泊行事など)は、いろいろな活動があり工夫されている。100%
- ・学校はていねいにそうじされていて、きれいである。94.7%
- ・先生は、授業でわからないことをていねいに教えてくれる。89.5%
- ・(小学部)授業では、実習や物づくり、実験などの体験学習があり楽しい。(中・高等部)授業では、実習や物づくり、観察・実験などの体験学習がよく行われている。89.5%
- ・給食は栄養が考えられていて、おいしい。89.5%
- ・感染症にかからないよう、手洗いなどをして、気をつけることができている。89.5%

児童生徒による評価は概ね良好である。特に友達に関することや行事に関することについては「当てはまる」が100%となった。引き続き、充実した学校生活となるよう努めていきたい。

(3) 保護者対象アンケート（◎「当てはまる」の割合が高かった主な項目）

- ・学校はお便り、ホームページやマチコミメール、公文等で必要な情報を適切に伝えている。79.5%
- ・学校は子どもの学習の様子や内容を連絡帳・面談・学級(学年)通信、授業参観の実施等を通して適切

に伝えている。86.4%

- ・あゆみ・通知表は、子どもの学習の様子を適切に評価し、伝えている。84.1%
- ・授業は子どもの実態に応じた目標設定のもと、子どもが主体的に学べるよう学習活動や必要な支援が工夫されている。79.5%
- ・教師は子どもの指導・支援の向上と授業改善のために、研修等を通して専門性と資質・能力の向上に努めている。79.5%
- ・学校は子どもが健康な生活を送れるよう、保護者との情報共有や連携が図られている。88.6%
- ・学校の徴収金等は、使途が明確にされており、適切に会計処理が行われている。77.3%

保護者による評価も概ね良好である。学校と家庭との情報共有、子どもの学習内容についての工夫や学習評価に対し良い評価をいただいたと考える。給食に関しては「？」が2割だったが、引き続き普段給食を目にする機会の少ない保護者に対して給食試食会や説明会等を通じて情報提供を行っていきたい。

2. 評価が低めであった項目

(1) 職員対象アンケート (△「あまり当てはまらない」×「当てはまらない」が2割以上)

- ・個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができていない。25.7% (◎肯定的評価 74.3%)

(2) 児童生徒対象アンケート (△「あまり当てはまらない」×「当てはまらない」が2割以上)

- ・なし

(3) 保護者対象アンケート (△「あまり当てはまらない」×「当てはまらない」が2割以上)

- ・なし

(4) その他

保護者対象アンケートにおいて、「給食(舎食)は、子どもが食べやすく栄養を考えて提供されている。」の項目について、「わからない」とした回答が20.5%であった。

働き方改革に関するアンケートは、「個人の裁量ある時間の確保」に関する項目のみ、肯定的評価が8割を下回り、否定的評価が25%であった。

3. 自由記述から

(1) 教職員対象アンケート

通知表の発行回数に関する事、保護者と担任との連絡手段に関する事、職員のゆとりある時間の確保に関する事、業務効率化に関する事などの意見があり、別紙の通り回答した。

(2) 児童生徒対象アンケート

スクールバスに関する事について意見があり、別紙の通り回答した。

(3) 保護者対象アンケート

保護者と学校における連絡に関するアプリの効果的な活用方法に関する事、授業計画や校外学習の進め方に関する事などの意見があり、別紙の通り回答した。

IV 学校評議員による助言等

- ・「学びの履歴チェックシート」を活用した、小中高共通の指導事例があったら確認したい。
- ・働き方を見直され、先生方にも心と身体のゆとりが出ると、さらに良い学習指導になると思う。
- ・先生の裁量ではなくみんなで児童の障害を知る事で、先生のスキルも上がるのではないかと。
- ・全体として、多くの項目で「当てはまる」「ある程度当てはまる」が高い割合を占めており、学校教育活動が概ね安定して実践されていることがうかがえる。特に、「キャリア教育」や「人権」、生徒指導の

分野において高い評価が得られており、丁寧な関わりや組織的な取組の成果だと感じた。ICTの活用や学習評価の工夫、個に応じた指導の充実については、一定の成果は見られるものの、さらなる改善の余地があるように思う。今後は、実践事例の共有や研修の充実を通して、教職員間での共通理解を深め、より質の高い教育活動につなげていくことを期待する。

- ・「個別の教育支援計画」の保護者の願いは、具体的にどのように展開されているか。
- ・保護者からの評価がどの項目も高いのは、日々の先生方のご尽力の結果だと思う。
- ・災害訓練について、学校周辺の避難場所、職員の安全確保のための用具の準備など、日頃から用心を心がけて欲しい。卒業後も地域で暮らせるよう、地域と関わる気持ちをご家族にも持ってほしい。
- ・学校からの連絡や学習・生活面での支援、安全面への取組については、多くの保護者が安心感を持っている印象。特に、子どもが学校生活を前向きに捉えている様子がうかがえる。一方で、「わからない」とする回答が一定数ある項目については、学校で行われている取組が保護者に十分伝わっていない可能性もあると考えられるため、ホームページやお便り等で、具体的な事例や目的を紹介してほしい。
- ・いつも元気で明るい、鏡が丘の子ども達にパワーを頂いています。給食も美味しそう。
- ・学校は友達と会って楽しく仲良く、大きな行事のわくわくがあれば毎日が楽しく過ごせるのだと思う。沢山楽しい事を提供してほしい。
- ・友だち関係や学校の雰囲気がよく、児童生徒が安心して学校生活を送れていることが分かる。特に「友だちが優しい」「学校に行くのが楽しい」と感じている児童生徒が多い点は、大きな成果だと思う。一方で、授業の分かりやすさや、自分の考えをまとめて発表する活動、将来について考える学習については、さらに工夫の余地があると感じた。今後は、児童生徒一人ひとりがより主体的に学べる授業づくりを進めていくことを期待する。

V 改善に向けて

ここでは、評価が低かったアンケート項目や、自由記述の結果・要望等の中から、本年度の重点目標を実現する上で、特に改善が必要な点を中心に上げる。尚、保護者自由記述に対する対応等については別に回答した。

1. 児童生徒の授業改善・職員の専門性向上

方針	児童生徒の卒業後を見据えた指導を全職員で専門性向上を目指し、一貫した教育活動を行う
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高職員が一体となった校内研修、授業検討会を継続し発展と充実に努める ・総合的な学習（探求）の時間等を活用し、調べ学習や主体的で対話的な活動を取り入れる ・ICTを活用し他校とのオンライン学習や地域の学校と共同学習を推進 ・外部専門科活用を通じた研修、巡回相談 ・小中高職員向け進路研修、事業所説明会の実施 ・キャリアパスポートの活用や「鏡が丘育てたい力」の周知

2. SDGsな働き方改革

方針	教員が教育の充実と改善に取り組むための時間を確保するため、業務の効率化・合理化を図る
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教員業務支援員の配置（教員が行っていた清掃業務の一部を代行）（令和6年10月～） ・職員研修、年度末業務時間の確保のため早下校を年度初めと年度末に設定 ・Teamsの活用による会議や連絡会（終礼）等の時間短縮、連絡の効率化 ・校内研修のオンデマンド・コンテンツ化により、研修企画や準備時間の削減

	<ul style="list-style-type: none"> ・行事のもち方の見直しと合理化（例：周年行事の簡素化） ・夏季休業期間中の時差出勤の導入（令和6年～） ・連絡アプリ（マチコミ）と紙でのお知らせ配布の棲み分け ・生成 AI を活用した業務における活用事例の共有 ・学期末反省において、本校職員から働き方改革のアイデアを募集 ・校務用 iPad の活用
--	---

3. 保護者や地域へ開かれた教育活動・情報公開

方針	HP や連絡アプリの積極的な活用、保護者や地域との交流活動
改善方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動や授業実践などを HP を活用して公開 ・保護者に向けての説明会や研修の実施（例：保護者向け進路説明会、進路先見学を一つにした説明会・研修を実施） ・連絡アプリ（マチコミ）のタイムラインやカレンダーの活用 ・保護者や地域を巻き込んだ取組（鏡が丘×地域ボッチャ交流会、校内販売会によるおもてなし活動、PTA 行事「鏡フェス」の実施）